



1_平成22年5月3日の白石市民春まつりで、甲冑武者行列に参加する甲冑工房「片倉塾」の皆さん
2・3_徐々に甲冑へと姿を変えていく厚紙。完成した時の喜びは言葉では表現できない



甲冑工房「片倉塾」

白石の誇りを伝えたい

手作り甲冑が一堂に展示 『甲冑展』



- 日時 6月16日(土)～24日(日)
10:00～16:00
- 場所 壽丸屋敷

片倉塾の塾生と、その指導に当たっている講師による作品を展示します。片倉小十郎や伊達政宗をはじめとする戦国時代の武将の甲冑具足を展示するほか、甲冑の試着体験もできます。

☎壽丸屋敷 ☎0224-25-6054

完成の喜びを共に味わいたい方へ 平成24年度塾生募集

甲冑工房「片倉塾」では、甲冑づくりを体験したい方を募集しています。詳しくは、募集案内資料をご請求ください。

- 製作期間 平成24年7月から平成25年3月まで
- 入塾資格 「白石市民春まつり」の甲冑行列に参加できる方(白石市民以外の方でも可)
※年齢・性別は問いません。ただし、中学生・高校生は保護者の承諾が必要です。
また、営利目的の方はご遠慮ください。

●募集案内資料請求先
〒989-0273 白石市字中町48-5 壽丸屋敷内 甲冑工房「片倉塾」事務局あて
☎0224-25-6054 ☎0224-25-6227

迎える。まだまだ作業工程は続くが、塾生は自身で作った甲冑が完成した時、これまでの苦勞が報われたような満足感がこみ上げてくる。

「片倉塾」では、入塾に年齢制限を設けていない。以前は定年退職して余暇を楽しむ方が圧倒的に多かったが、最近では中高生や20代、夫婦で甲冑作りを楽しむ方、歴史好きな女性の参加も増えている。2年目3年目と続けて参加する方も増え、趣味として、共通の友との出会いの場として、仲間がつどう場となっている。

そして、「片倉塾」の紙甲冑作りは、本物の甲冑により近づけることはもとより、技術的に改良し改良を重ね製作されている。「片倉塾の甲冑は奥州の武将が着用した甲冑の特徴を捉えた甲冑」と、鎧甲冑師の佐藤誠孝さんが評価するほどだ。甲冑作りを指導する講師も、「甲冑作りの技が城下町白石の誇れる文化として、より多くの皆さんに伝えることができれば」と意気込む。

本年の春まつり甲冑行列は、大雨のため大幅な縮小を余儀なくされたが、その分、来年への期待は高まる。新たな伝統は、「白石の誇り」として輝きを増している。

5月3日の「白石市民春まつり」に欠かせない甲冑武者行列。商店街を練り歩くその姿は、観客を魅了し続けている。

今では定番となっている甲冑行列も、平成9年に経費などの関係で姿を消した。「なんとか甲冑行列を復活させたい」という思いから、平成11年に市民有志が甲冑工房「片倉塾」を結成。平成12年に見事、甲冑行列を復活させた。毎年、7月から翌年3月までの期間、塾生が工房にたどり、厚紙を使用して甲冑を製作。これまで延べ500人が参加してきた。春まつりに参加した塾生は憧れの武将になりきり、沿道の声援に応えながら、見るだけでは味わえない思い出を手に入れている。

甲冑を製作する工房は、沢端町にある「いきいきプラザ」の1階。初夏のころ、塾生は翌年の春まつりに向けて甲冑の製作を始める。最初は、厚紙を型紙通りに切り取る作業からスタート。講師が一人一人手厚い指導をしてくれる。各パーツが出来上がると成形の工程に進む。立体的な形になると、初めて体験する塾生は最初の感動の瞬間を